

令和元年度事業計画

政府の令和元年度の経済見通しは、引き続き内需を中心とした景気回復およびデフレ脱却に向けて、実質GDP成長率1.3%、消費者物価（総合）1.1%程度の上昇を見込んでいる。他方、国内では10月に消費税率の引き上げや、海外では米中貿易通商問題、英国のEU離脱問題その他、世界経済の不確実性要因が危惧される。

遊技業界にあつては、風営適正化法施行規則の改正にともなう新規則遊技機の市場流通の遅れや、IR基本法制定に伴うギャンブル等依存症対策に関する施策をうけて、プレイヤー人口が減少することによる売上が低迷し、産業規模の縮小が続いている。

業界におけるギャンブル等依存症対策は、パチンコ・パチスロ21世紀会を中心に、特定非営利活動法人リカバリー・サポートネットワークによる電話相談時間の延長、パチンコ・パチスロ・アドバイザーの拡充、自己申告・家族申告プログラムの拡充等に、多くの金銭的並びに人的両面での貢献を行っている。しかしながら「ギャンブル等依存症」の医学的定義が定まっていないことに加え、政府から更なる対策計画が出され、未だ根本解決に向かっているとは言い難い状況にある。

当協議会は本年、創立20周年を迎えたが、これまで「業界を取り巻く環境の整備」と「現行風営適正化法の問題点の調査研究」を二本柱として活動してきた。しかし、遊技業界が長らく低迷し深刻な曲がり角に立たされていることから、あらためて会是にある理念の実現に向けて積極的に発信し、風営適正化法では対応できない問題点を改革していくための提言をしていくものとする。さらに、我が国固有の大衆文化であるパチンコ・パチスロが発展継承をするために、ホール・メーカー等の業種を超えた業界の総意結束を図り、新たなビジネスモデルの研究調査をはじめ、諸課題に挑んでいくこととする。

その他、創立以来取り組んでいる健全営業の推進と社会貢献活動に引き続き尽力していく。

会是

『業界の環境を整備し業法の制定を図る』

今年度の重点目標

『遊技業界の将来展望を拓くために積極的な政策提言活動を行う』

具体的な行動目標

1. 業法制定に向けて内外の啓発活動を行う
2. 遊技環境の在り方を研究調査する
3. 地域社会と共生する遊技場の在り方を研究調査する
4. 会是に賛同する会員の増員に努める

行動内容

1. 理事会を8月を除く年11回開催する
2. 常務会を月1回以上開催し、理事会議案等を作成する
3. 定例部会を8月と12月を除く年10回開催する
4. 特別部会を開催し、現行法運用上の諸問題を研究調査する
5. 多様性のある遊技環境の構築に向けた活動を実施する
6. 若手経営者層による会合を開催し、業界展望について協議検討する
7. 行政及び関係団体等との情報交換や交流を推進する
8. 秋季セミナーを開催する
9. 風営適正化法令におけるパチンコ営業運用上のQ&A改訂版を刊行する
10. 「全国パチンコ店舗避難所ガイド」の店舗登録の拡大に努める

以 上